

令和5年度 山鹿支部の取組

小中学校合同英語部会

支部長 森 每恵（八幡小学校長）

1 研究テーマ

「小中連携を踏まえ、主体的な学びに向かう授業の創造」

- (1) 中学校: 継続的な帯活動等の工夫による、基礎的・基本的事項の確実な定着
- (2) 小中共通: 目的・場面・状況を意識した言語活動の工夫
- (3) 小中共通: CAN-DO リスト等を活用した、7年間の系統観を意識した授業づくり

2 本年度の取組

- (1) 第1回小中学校合同英語部会 5月8日 組織作り、研究テーマ・年間計画決定
- (2) 第2回小中学校合同英語部会 6月9日 情報交換会及び授業作り・帯活動の紹介（小学校・中学校の取組事例紹介）・各学年での授業づくり
- (3) 小中学校合同英語部会夏季研修会 7月24日
講師： 益城町立益城中央小学校 原口順子指導教諭 八代市立第四中学校 澤村雄二指導教諭
・実践紹介（小・中学校別）、授業作り（校種ごと）
- (4) 第3回小中学校合同英語部会 10月7日
授業研究会 授業者： 高木 沙衣子 教諭（山鹿小6年）
単元名 Lesson8 What sport do you like? (Junior Sunshine English Course 6)
指導助言： 熊本県菊池教育事務所 北山 綾 指導主事
- (5) 第4回小中学校合同英語部会 1月24日
授業研究会 授業者： 吉田 真大教諭（山鹿中2年）
単元名 Unit8 World Heritage Sites (New Horizon English Course 2)
指導助言： 市原 小百合 指導主事（県教育庁英語・日本語教育推進室）

3 取組の実際

(1) 小中連携

山鹿市には一小一中の学校が多く、小中連携が行いやすい環境にあり、それを生かした実態に合わせた小中連携が行われている。

① 中学3年生による出前英語教室 (Kikuka English Fun Day) ※写真は昨年度のもの

目的・小中の円滑な学びの接続のため

・英語学習に興味を持ち主体的に学び続ける児童を育てため

参加者 受験を終えた中3生徒・6年生

日程 公立入試後期の日

場所 小学校体育館

内容 中学生が先輩ティーチャーとして、クイズやインタビューなど思考を凝らした活動を行う。



中学校での勉強が楽しみのようになった。

不安な気持ちが大きかったけど、中学生や先生方と会って、少し不安がなくなった。

② 乗り入れ授業

目的・小中の円滑な学びの接続のため

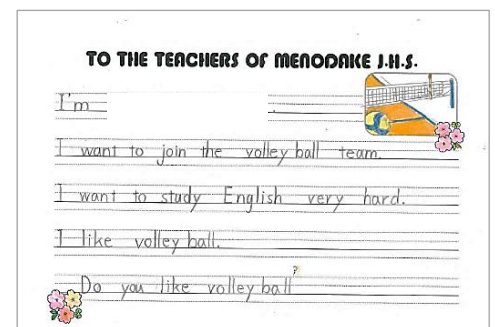
・中学校の先生に自分のことを知ってもらうために、中学校でがんばりたいことなどを書いて読み合うため

参加者 中学校の英語科教員

内容・参加した英語科教員に、中学校について英語で質問をする

・書き写す前に、英文をなぞったり、声に出して読んだり、語間にチェックしたりしながら、丁寧に英文を書き写す姿を共有する

・児童の英作文を参考に、春休み中に英語科についての引き継ぎを行う



③ 合同授業（つながっている校舎の特色を生かして）

目的 ・小中の円滑な学びの接続のため
 ・お互いの成長の様子を見せ合うため

参加者 中学1年生と6年生、英語科教員

内容 ・アイスブレイキング

・グループごとに事前に考えておいた中学生への質問をし、
 中学校への期待感を高める

“What club activities do you have?”

“What subject do you study hard now?” など



(2) 山鹿市版 CAN-DO リストの作成・共有

5・6年生には、4月の授業びらきで CAN-DO リストを配布、共有している。

CAN-DOリスト									
単元名	単元目標	到達目標	学習活動	評価	学習活動	到達目標	単元目標	単元目標	単元目標
Unit 1	自分の好きな食べ物や飲み物を紹介できる。	自分の好きな食べ物や飲み物を紹介できる。	自分の好きな食べ物や飲み物を紹介できる。	自分の好きな食べ物や飲み物を紹介できる。	自分の好きな食べ物や飲み物を紹介できる。	自分の好きな食べ物や飲み物を紹介できる。	自分の好きな食べ物や飲み物を紹介できる。	自分の好きな食べ物や飲み物を紹介できる。	自分の好きな食べ物や飲み物を紹介できる。
Unit 2	自分の好きな場所を紹介できる。	自分の好きな場所を紹介できる。	自分の好きな場所を紹介できる。	自分の好きな場所を紹介できる。	自分の好きな場所を紹介できる。	自分の好きな場所を紹介できる。	自分の好きな場所を紹介できる。	自分の好きな場所を紹介できる。	自分の好きな場所を紹介できる。
Unit 3	自分の好きな動物を紹介できる。	自分の好きな動物を紹介できる。	自分の好きな動物を紹介できる。	自分の好きな動物を紹介できる。	自分の好きな動物を紹介できる。	自分の好きな動物を紹介できる。	自分の好きな動物を紹介できる。	自分の好きな動物を紹介できる。	自分の好きな動物を紹介できる。
Unit 4	自分の好きな季節を紹介できる。	自分の好きな季節を紹介できる。	自分の好きな季節を紹介できる。	自分の好きな季節を紹介できる。	自分の好きな季節を紹介できる。	自分の好きな季節を紹介できる。	自分の好きな季節を紹介できる。	自分の好きな季節を紹介できる。	自分の好きな季節を紹介できる。
Unit 5	自分の好きなスポーツを紹介できる。	自分の好きなスポーツを紹介できる。	自分の好きなスポーツを紹介できる。	自分の好きなスポーツを紹介できる。	自分の好きなスポーツを紹介できる。	自分の好きなスポーツを紹介できる。	自分の好きなスポーツを紹介できる。	自分の好きなスポーツを紹介できる。	自分の好きなスポーツを紹介できる。
Unit 6	自分の好きな映画を紹介できる。	自分の好きな映画を紹介できる。	自分の好きな映画を紹介できる。	自分の好きな映画を紹介できる。	自分の好きな映画を紹介できる。	自分の好きな映画を紹介できる。	自分の好きな映画を紹介できる。	自分の好きな映画を紹介できる。	自分の好きな映画を紹介できる。
Unit 7	自分の好きな音楽を紹介できる。	自分の好きな音楽を紹介できる。	自分の好きな音楽を紹介できる。	自分の好きな音楽を紹介できる。	自分の好きな音楽を紹介できる。	自分の好きな音楽を紹介できる。	自分の好きな音楽を紹介できる。	自分の好きな音楽を紹介できる。	自分の好きな音楽を紹介できる。
Unit 8	自分の好きなゲームを紹介できる。	自分の好きなゲームを紹介できる。	自分の好きなゲームを紹介できる。	自分の好きなゲームを紹介できる。	自分の好きなゲームを紹介できる。	自分の好きなゲームを紹介できる。	自分の好きなゲームを紹介できる。	自分の好きなゲームを紹介できる。	自分の好きなゲームを紹介できる。
Unit 9	自分の好きな本を紹介できる。	自分の好きな本を紹介できる。	自分の好きな本を紹介できる。	自分の好きな本を紹介できる。	自分の好きな本を紹介できる。	自分の好きな本を紹介できる。	自分の好きな本を紹介できる。	自分の好きな本を紹介できる。	自分の好きな本を紹介できる。
Unit 10	自分の好きな漫画を紹介できる。	自分の好きな漫画を紹介できる。	自分の好きな漫画を紹介できる。	自分の好きな漫画を紹介できる。	自分の好きな漫画を紹介できる。	自分の好きな漫画を紹介できる。	自分の好きな漫画を紹介できる。	自分の好きな漫画を紹介できる。	自分の好きな漫画を紹介できる。

○児童にとってのメリット

- ・見通しを持った学びにつながる
- ・自己の学びの振り返りと可視化できる
- ・次単元への楽しみを持つことができる

○指導者にとってのメリット

- ・目的場面状況が明確に設定された言語活動の実施につながる
- ・4観点を網羅しながら計画的に評価ができる
- ・中学校の教科書との関連も明記しており、小中連携を意識した取組につながる

(3) 目的・場面・状況を意識した言語活動の工夫

単元名 Lesson 9 I love my town. (Junior Sunshine English Course 5)

単元終末の言語活動

ALT に熊本の魅力を知ってもらうために、熊本の観光大使になって熊本の良いところを紹介しよう。

成果と課題

- ALT に伝えるという目的意識を持って、何を伝えるか、相手が何を知っているのか、何を発表すると興味を持ってもらえるかなど、相手を意識して発表を組み立てる姿が見られた。
- より詳しく伝えるために、既習を意識したり、形容詞や数などを入れたりして話す児童が多かった。
- ALT にコメントをもらいながら発表したのも、前の班の発表から、良いところを自分達の発表に取り入れるなど、児童自ら工夫したり、練り上げたりしようとする姿が見られた。
- 児童と面識のある ALT や、英語話者が参加できるスケジュール調整が難しい。



Yes, I do. I like it.
I want to see it again.

This is Kumamoto.
It's famous for “百華百彩”.

It's beautiful and shiny.
Do you know “百華百彩”?

4 まとめ

本年度は、7年間の系統観を意識した授業づくりにつなげるため、夏季研修会では、授業マイスターの原口順子先生、澤村雄二先生から実践的な取組事例等をご紹介いただき、授業改善の視点を具体的にご教示いただいたことにより、参加者それぞれが自らの授業を振り返り、改善の視点をより明確に持つことができた。

また、各小学校で特色を生かした小中連携を行うとともに、日頃から目的場面状況を明確に設定した言語活動を大切に授業を行っている。英語が好き、分かるという児童を育てるため、それらを来年度も継続していくとともに、さらに発展させていきたい。